

令和2年度 自己評価結果公表シート

すみれ幼稚園

1、本園の教育目標

子ども達一人一人が楽しみながら思考力を高め、創造力や判断力を培う事につとめ、絵画・音楽教育、基礎的な体力づくり等の充実した保育内容で「明るいすなおな子ども」に育っていくよう日々保育に取り組む。

本園の教育目標

- 1、明るい豊かな心をもった子ども
- 2、「ありがとう」とすなおな心をもった子ども
- 3、どんなことにも負けない我慢強い子ども

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って、自己点検、自己評価を実施することにより、自己クラス経営を見直し新たな課題に取り組んでいく。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
園だよりやクラスだよりを通して、幼稚園の情報を発信していく。	園の教育方針や取り組みを情報発信するように園だよりに記載し、積極的に取り組んでいく。クラスでの注意事項やお願いなども書いていく。
指導計画の作成と環境の構成をする。	幼児教育要領及び園の教育目標、方針に沿いながら前年の反省点などを踏まえ指導計画を作成する。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

幼稚園としては総体的に評価項目に納得のいく取り組みが出来ていると思う。個々の教員の自己評価に於いては、時間的気持ちな余裕が無くなりイメージしていた保育が出来なかったり、子ども自身で考えて行動させることが出来なかった。また、行動予測が出来ていなかったなど、それぞれに反省点を挙げている。それらの反省点を改善できるように幼稚園としてどう取り組むかを検討する必要があると思われた。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
生活習慣を上手に身に付けさせるには。	子どもの生きる力、基本的な生活習慣をひとつひとつ丁寧に指導を行う。 (挨拶・食事・整理整頓・衣服の着脱 たたみ方など)
保育者間の連携を図り一人ひとりの幼児の成長を多面的に捉える。	幼児の育ちを多面的に捉えるために担任だけではなく教職員間でいろいろな意見を出し合い話し合う様にし、一人ひとりの幼児の理解を深めていく。
各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	各種研修会や研究会に参加し、学んだことを資料にまとめ、教員間での共有化を図るようにしていく。

6、学校関係者の評価

コロナ渦で大変な中、たくさんの行事を縮小しながら開催していただきました。
特に年長のお泊り保育は、日帰りに変更して実施して下さり、感謝です。
親子ともに不安な1年を楽しく過ごさせて頂きました。

7、財務状況

収入・収支差額とも前年度より減少しているが経営は一応安定していると言える。
今年度中に1件借入金を完済したため、その分の資金繰りは楽になっている。